

トヨニ USC/北貝取 SC 合同招待大会 2 年生大会優勝のお知らせ！

トヨニ USC/北貝取 SC 合同招待大会 2 年生大会スタッフ関係者の皆様へ

朝早くから一日中スクール子供たちに素晴らしい環境を作っていただき心より感謝申し上げます。

大野校・北公園スクールの 1～2 年生参加選手みんなの仲間が力を合わせた優勝でした。そしてご父兄、関係者、OB の皆様一日中応援を頂きました結果、優勝をすることができました。

参加 1～2 年生 (15 名) の選手、おめでとうございます！

通常においてスクール指導をしている若手スタッフ (野口・龍コーチ) が講習会などで土持監督・河野コーチ・岡本アドバイザーの高齢指導者担当スタッフが担当者等するに至りました。日頃の指導の成果が優勝に繋がりました。

2019 年 2 月 24 日 (日) 朝 8 : 2 0 北公園～ 8 : 4 0 JR 橋本駅南口を出発。目的地の旧多摩市立北貝取小学校グラウンドに 9 : 2 0 着。

バスを降りるマナーや「この大会の関係者はじめ戦う選手たちが、こういった環境を作ってくれているのですから感謝しておはようございます。よろしくお願ひしますという挨拶をしましょう！」…

河野コーチが第一試合を観戦させることからはじまりました。試合観戦中は仲間のプレーを観ながら「あその場面は自分だったらどうする？…」といったイメージ作りの勉強を…積極的な人間は挨拶を待つのではなく「自分から挨拶をするものですから」身体をぶつけるサッカーは合う意味格闘技でもありますので積極的な気持ちがなければなりません。「失敗を恐れず勇気をもってプレーする」…もちろんボールを奪われたらしつこく奪い返すという精神にもつながります。ゴールに向かってプレーすることにもつながります。

「たかがサッカー・されどサッカーと言います」が、そこには子供たちのこれからの生き方につながり多くの仲間を作ることに繋がるには真剣勝負ができるのが試合です。

ヴェルディ SS 相模原は、チーム活動はしていませんがそういった試合の場を多く作ってあげたいと思っての本日でした。

「ボールを持ったら自分で考え自分の良さを発揮して思いっきりゴールに向かう！」

そのためには常に顔を上げてプレーすることで判断力を養うのです。

「仲間を助けるための指示・要求の声が大切」

自由に考えてプレーすることを一番の課題にいたしました。

「仲間がゴールを決めたらベンチの選手は思いっきり一緒に褒めて喜ぶ！」

たった一日でしたが「多くのことを学んでほしい」と高齢スタッフトリオで申し訳ありませ

んでしたが皆様に支えられての優勝でした！

全員よく頑張り考えて良かったと思います。

ユースチームが全国大会出場してJチーム以外で日本一になったことも経験していますが、どのような学年・レベルの大会であれ優勝することは大変なことです。

足を引きずりながら交代した選手、犠牲心の強い選手が率先してGKを買って出た選手。

見事な左足シュートを2回も決めた選手。そのゴールをアシストした選手。相手のエースキーマンをプロフェッショナルプレーで止めた選手。仲間のゴールに対して自然みんなを抱き合って喜ぶ仲間。相手GKのゴールキックをどうやって奪うか??…

スローインのTRをしてくれた河野コーチ。相手ペナルティ内でスローインを受けることなど。タッチライン際でスペースがない時にどうやって相手を抜くか?…ややヒントを与えた場面もありましたが選手たち自身が考えてプレーをしていたのは若手コーチの賜物でした。閉会式時に身体の具合が少し悪くなったので葛屋とコンビニへ行きました。

高齢者スタッフトリオへ大きな思い出を作ってくれました。

選手はじめ保護者をはじめ関係者の皆様に心より感謝申し上げます。